



この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。

伝統工芸を受け継ぐことで
この町の魅力を守っていききたい。

深山工房つち団子 陶芸家見習い

川田 かわた 菜奈さん なな (鮎貝在住)



今回ご紹介するのは、深山工房つち団子で陶芸家見習いとして活動している川田さんです。

川田さんは、幼少期から絵を描くことが好きだったそうです。そして、高校の美術の先生との出会いや兄の影響で、東北芸術工科大学に進学し、4年間彫刻の勉強をしました。ある時、友人のすすめで深山地区にある深山工房つち団子を訪れ、陶芸に興味を持つようになり、現在に至ります。

普段は、陶芸家の金田利之さんのお手伝いをしながら、自身の作品を制作しています。また、陶芸体験等では、講師を務めることもあるそうです。「陶芸は、作品をつくるにあたり感覚的な部分が多く、それぞれのポイントを言葉にして体験者へ伝えるということが非常に難しいです。特に、小さい子の体験者も多く、どのように伝えたら良いのかわからなくなることも多々ありますが、作品が完成して喜ぶ姿を見るととても嬉しくなりますね」と語る川田さん。

現代の陶芸は、作品づくりと同時に、販路をどう見つけるかとい

日々、試行錯誤しながら
作品を制作しています



う課題も非常に重要になっているそうです。SNSやハンドメイドサイトをうまく活用し、自身の作品をとにかく認知してもらうために、日々奮闘しているとのこと。最後に、今後の展望について伺うと、「これから本格的に修行が始まります。この町には伝統工芸がたくさんありますが、後継者不足が大きな問題でもあります。私とその伝統工芸を受け継ぐことこそがこの町の魅力を守ることにもつながるのではないかと思うんです。まずは一人前の陶芸家を目指して、今できることを精一杯頑張ります！」と、夢の実現に向けて熱い思いを語ってくれました。